

## 地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第33回）の概要

### 1 開催日時

令和2年8月7日（金） 14：00から14：55まで

### 2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第5会議室

### 3 出席者

評価委員会委員： 5人

事務局： 4人

法人： 12人

### 4 内容

(1) 県健康福祉部理事挨拶

(2) 議事

令和元年度における法人の業務の実績に関する評価（素案）について

- ・ 事務局から資料1～資料4について説明

主な質疑応答・意見

〔●委員 □法人 △県〕

- 「年度計画の指標である院内助産院分娩件数については、スタッフ不足などから、実績が伸びず、評点が低くなっている」とあるが、個別項目別評価書3ページではどこに説明があるか。
- △ 県では機構から提出された自己評価結果を元にヒアリングした結果を記載している。次回からはわかりやすい自己評価を求めたい。
- 素案の⑩糖尿病に対する医療では「積極的に取り組んでいる」としながら評点が3となっている。伸びにくかった理由や評価しにくかった理由を書いた方がいいのではないか。
- 周産期医療の分娩件数など、数値目標がある項目と、糖尿病のように取組目標のみの項目がある。取組目標のみの項目については取組内容を元に評価しており、数値目標がある項目と比べると評点がわかりにくいところがある。
- 「効率的、効果的な業務運営」のところの2番目、「材料費について適正価格の把握、削減計画の策定・実行のため、外部コンサルタントを活用し、値引率の向上に努めている」と記載があるが、ここは実績が上がって数字に見える形で実績が上がってきていると思う。ここの文言を

「努めている。」で止めず、「努め、実績を上げている」というように、具体的な数字を挙げる必要はないが、実績を上げているということを表現した方がよいのではないかと思う。

また、「収入の確保、費用の節減・適正化」のところの2番目も同様に、「診療材料や医薬品の適正な在庫管理を行うとともに、・・・」とあるが、最後のところが、「・・・費用の節減に向けて取り組んでいる」という表現になっている。これも実績が上がっていると思うので、「取り組み、実績を上げている」というように評価した方がよいのではないかと思う。

△ 指摘のあった箇所については、「実績を上げている」旨、付け加えたい。

### (3) その他

- ・ 次回の評価委員会は、来年度の予定